

- 問1 ある地方の農業統計において、耕地面積が約45,000ヘクタールであるのに対し、そのうち田の面積が40,000ヘクタールを超えており、田の割合が8割を大きく上回っていることが示されています。このような特徴を持つ「あ」にあてはまる県として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 宮崎県 2. 長野県 3. 静岡県 4. 新潟県
- 問2 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。
(2023年 三重県公立入試 類似)
1. 製紙・パルプ工業 2. 金属加工業 3. 精密機械工業 4. 繊維工業
- 問3 夏でも涼しい高冷地の気候を利用した抑制栽培が盛んで、長野県が全国トップクラスの生産量を誇る野菜として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 熊本県公立入試 類似)
1. トマト 2. キャベツ 3. きゅうり 4. レタス
- 問4 日本の都道府県別のお茶の生産量に関する統計において、国内生産量の約四割（39.6%）を占め、全国一位となっている都道府県はどこですか。
(2017年 高知県公立入試 類似)
1. 三重県 2. 静岡県 3. 鹿児島県 4. 京都府
- 問5 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。
(2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。
3. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
4. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
- 問6 本州の中央部に位置し、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という標高3000m級の険しい山々が連なっている地域は、「日本の屋根」とも呼ばれています。これら3つの山脈の総称は何ですか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 奥羽山脈 2. 関東山地 3. 日本アルプス 4. 越後山脈
- 問7 北陸地方の各県の位置関係と交通網の整備について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。北陸新幹線のルートにおいて、石川県の金沢駅からさらに西側の日本海沿いに進んだ地点に位置し、2024年3月に新幹線の延伸区間が開業した県を選びなさい。
(2016年 長野県公立入試 類似)
1. 富山県 2. 新潟県 3. 滋賀県 4. 福井県
- 問8 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。
(2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 長野県 2. 福井県 3. 石川県 4. 富山県
- 問9 日本の諸地域の産業と貿易港の関係について述べた文章のうち、名古屋港の特徴を正しく説明しているものを選んでください。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 首都圏に位置する貿易の拠点で、輸出額では自動車が入位に入るが、輸入額が輸出額を上回っており、電子機器の輸入も多い。
2. 航空貨物の取扱額が日本一の拠点で、IC（集積回路）や医薬品などの、軽量で高価な製品の輸出に特化している。
3. 鉄鋼業や化学工業などの基礎素材産業の拠点として発展したため、鉄鋼製品の輸出が過半数を占め、原料の輸入も盛んである。
4. 周辺に自動車産業が集積しているため、輸出総額が日本一であり、輸出内訳でも自動車やその部品などの関連製品が大きな割合を占めている。
- 問10 長野県などの高冷地では、夏でも涼しい気候をいかしてレタスなどの野菜を栽培し、東京などの大都市へ出荷しています。このような農業の仕組みとその利点について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 広大な平坦地をいかし、大型の機械を導入して生産コストを下げ、大量の野菜を安定的に供給する土地利用型農業が行われている。
2. 大消費地に近い立地をいかし、収穫したばかりの新鮮な野菜を輸送費を抑えて市場へ届ける近郊農業が行われている。
3. 冬でも温暖な気候をいかし、他の地域よりも収穫時期を早めて、高い価格で販売する促成栽培が行われている。
4. 標高が高い地域の冷涼な気候をいかし、平地の産地が品薄になる夏に時期をずらして出荷する抑制栽培が行われている。
- 問11 岐阜県の白川郷などの豪雪地帯で見られる、屋根の傾斜が非常に急な「合掌造り」と呼ばれる伝統的な住居について、このような構造にしている目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2017年 広島県公立入試 類似)
1. 床を高くして地面からの熱を遮断し、冬場の室温を一定に保つため。
2. 積雪の重みによって家屋が損壊するのを防ぐため、雪を地面へ滑り落ちやすくするため。
3. 屋根の面積を広げることで、雨水を蓄えて生活用水として利用するため。
4. 夏場の風通しを良くして、家の中の湿気を効率的に逃がすため。
- 問12 2023年度の統計において、発電電力量が多い上位4県が岐阜県、富山県、新潟県、長野県といった中部地方の県が独占している発電方式について、その特徴として適切な記述を選んでください。
(2026年 北海道公立入試 類似)
1. 天候に左右されやすく、夜間や無風の状態で発電が不可能になるという課題がある。
2. ウランを燃料として利用し、一度の発電で大量の電力を安定して供給できるが放射性廃棄物が出る。
3. 石炭や天然ガスなどの化石燃料を燃焼させて蒸気を作り、タービンを回して発電する。
4. 二酸化炭素を排出せずに繰り返し利用できる、再生可能エネルギーの一つに位置づけられる。
- 問13 中央高地の気候において、年間の降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きくなる理由として最も適切な説明はどれですか。
(2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 北西の季節風が日本海から水分を運んでくるが、高い山脈を越える際に雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため
2. 周囲を高い山々に囲まれており、海からの湿った空気がさえぎられるとともに、内陸のため海洋の影響を受けにくい
3. 暖流の影響を強く受ける地域であり、夏は高温多湿になるが、冬は乾いた季節風の影響を強く受けるため
4. 標高が非常に高いため、年間を通じて気温が低く抑えられ、上昇気流が発生しにくく雨が降らないため